

年頭に当たって

明けましておめでとうございます。

本年が皆様お一人おひとりにとって、輝かしい年となりますよう祈念申し上げます。

昨年10月、世界農業遺産認定10周年を迎えた宮崎県高千穂・椎葉地域を訪れる機会がありました。世界農業遺産は世界的に重要な伝統的農林水産業が営まれている地域を国際連合食糧農業機関（FAO）が認定しているもので、昨年8月に認定された島根県奥出雲地域、和歌山県有田・下津地域を含めて我が国では17地域が認定されています。一方、同様な観点から日本農業遺産として28地域が農林水産大臣により認定されているところです。これらの地域に代表されるように、我が国それぞれの地域において、多様な自然環境を活かし、文化を育み、景観形成や生物多様性の保全にも貢献する地域固有の農林水産業が展開されていることに改めて感銘を覚えます。

このような全国各地の農山漁村地域が将来にわたって維持、活性化できるよう、信用力の補完を通じて農林漁業者の皆様を支援するという農林漁業信用基金の使命の重要性に思いを致し、業務の充実に努めてまいります。

また、本年には、農業近代化資金融通法の改正、森林・林業基本計画の改定などが予定されているところです。このような重要な制度の見直しに適切に対応できるよう各関係機関・団体の皆様との連携を更に強化してまいりたいと思います。

本年の干支は丙午^{ひのえうま}です。丙は陽気の発揚、午もまた剛強なる陽とあります。余りに暑い夏も困りものですが、各地域が「陽気」を吸い上げ、それぞれの農林水産業が更に発展されますことを心よりお祈り申し上げて新年のご挨拶とさせていただきます。

独立行政法人 農林漁業信用基金

理事長 牧元 幸司

